

3) 申請年度別の二次判定の分布

年度毎の二次判定における要介護度の分布は、一次判定とほぼ同様の傾向が示され、平成11年度の申請者の要介護度が高く、要介護3から5までの割合は約45%を占めていたが、12年度からは、約4割と減少していた。年度毎に割合が増加しているのは、要介護1だった。要介護2は、平成13年度まで増加していたが、14年、15年と減少していた。要支援は、平成14年度まで増加していたが、平成15年度に減少していた。

表 III-1-26 申請年度別の二次判定の分布

申請年度	二次判定															
	非該当		要支援		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		合計	
	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%
平成11年度	77	2.1	409	10.9	720	19.2	815	21.8	611	16.3	607	16.2	508	13.6	3747	100.0
平成12年度	34	0.4	1092	12.6	2124	24.5	2094	24.2	1463	16.9	1031	11.9	822	9.5	8660	100.0
平成13年度	27	0.3	1198	13.1	2420	26.4	2262	24.6	1502	16.4	1020	11.1	748	8.2	9177	100.0
平成14年度	12	0.1	1237	13.8	2551	28.5	1958	21.8	1283	14.3	1074	12.0	850	9.5	8965	100.0
平成15年度	19	0.2	1117	12.4	3205	35.5	1529	16.9	1171	13.0	1070	11.8	922	10.2	9033	100.0
合計	169	0.4	5053	12.8	11020	27.8	8658	21.9	6030	15.2	4802	12.1	3850	9.7	39582	100.0

4) 月別の二次判定の状況

認定対象者 11,945 名に対して、月別の二次判定の状況をデータ化した。二次判定結果が非該当の時は、その後の認定が実施されるまで非該当であると仮定した。非該当以外の二次判定は、その時の認定有効期間の間が当該被保険者の二次判定であるとした。

ただし、異動があった場合は、異動の日が月初の時は当該月から月中の場合は、翌月から当該二次判定を無効化し、その異動の状況（死亡若しくは死亡以外）を示すことにした。この結果の二次判定の分布状況を表 III-1-27 に示す。

要介護 1 の割合は、平成 12 年 4 月の 6.4% から、一貫して増加しており、平成 16 年 3 月には、21.2% と 3 倍以上となっていた。要介護 2 は、平成 12 年 4 月の 7.3% から、増加しつづけるが、平成 15 年の 2 月から減少に転じていた。要介護 3,4,5 は、増加、減少を繰り返しているが、いずれの要介護度も 4% から 7% の範囲を示していた。

要支援も増加と減少を繰り返しているが、平成 12 年 4 月の 3.6% から、平成 16 年 3 月には、7.2% を示し、5 年間で、その割合は、倍増していた。

月毎の要介護度の構成比は、平成 15 年 4 月からは、要介護 1 が増加し、要介護 2 が減少するという傾向が顕著に示された。

表 III-1-27 月別の二次判定の分布

年度	非該当		要支援		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		死亡		死亡以外		合計 N
	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	
平成12年4月	79	0.7	431	3.6	760	6.4	874	7.3	644	5.4	643	5.4	531	4.4	0	0.0	0	0.0	3962
平成12年5月	82	0.7	466	3.9	796	6.7	915	7.7	661	5.5	640	5.4	524	4.4	52	0.4	8	0.1	4144
平成12年6月	83	0.7	493	4.1	845	7.1	954	8.0	673	5.6	644	5.4	505	4.2	49	0.4	9	0.1	4255
平成12年7月	90	0.8	448	3.8	908	7.6	969	8.1	694	5.8	637	5.3	509	4.3	44	0.4	2	0.0	4301
平成12年8月	93	0.8	493	4.1	886	7.4	1009	8.4	706	5.9	633	5.3	517	4.3	40	0.3	5	0.0	4382
平成12年9月	94	0.8	537	4.5	953	8.0	974	8.2	725	6.1	649	5.4	510	4.3	42	0.4	2	0.0	4486
平成12年10月	93	0.8	565	4.7	1005	8.4	981	8.2	680	5.7	666	5.6	520	4.4	52	0.4	3	0.0	4565
平成12年11月	91	0.8	584	4.9	1045	8.7	1003	8.4	707	5.9	588	4.9	538	4.5	60	0.5	7	0.1	4623
平成12年12月	90	0.8	607	5.1	1083	9.1	1027	8.6	747	6.3	578	4.8	525	4.4	54	0.5	1	0.0	4712
平成13年1月	89	0.7	558	4.7	1098	9.2	1078	9.0	781	6.5	576	4.8	529	4.4	43	0.4	8	0.1	4760
平成13年2月	84	0.7	558	4.7	1114	9.3	1110	9.3	806	6.7	591	4.9	544	4.6	77	0.6	5	0.0	4889
平成13年3月	81	0.7	570	4.8	1135	9.5	1117	9.4	823	6.9	609	5.1	549	4.6	66	0.6	6	0.1	4956
平成13年4月	80	0.7	578	4.8	1146	9.6	1145	9.6	789	6.6	634	5.3	566	4.7	79	0.7	11	0.1	5028
平成13年5月	82	0.7	576	4.8	1163	9.7	1142	9.6	801	6.7	634	5.3	582	4.9	62	0.5	14	0.1	5056
平成13年6月	83	0.7	598	5.0	1207	10.1	1136	9.5	808	6.8	637	5.3	580	4.9	62	0.5	9	0.1	5120
平成13年7月	83	0.7	600	5.0	1227	10.3	1160	9.7	815	6.8	641	5.4	592	5.0	51	0.4	7	0.1	5176
平成13年8月	84	0.7	609	5.1	1259	10.5	1178	9.9	826	6.9	650	5.4	588	4.9	77	0.6	6	0.1	5277
平成13年9月	88	0.7	617	5.2	1266	10.6	1192	10.0	829	6.9	656	5.5	597	5.0	61	0.5	6	0.1	5312
平成13年10月	87	0.7	642	5.4	1292	10.8	1204	10.1	831	7.0	658	5.5	591	4.9	77	0.6	4	0.0	5386
平成13年11月	89	0.7	648	5.4	1298	10.9	1252	10.5	814	6.8	666	5.6	609	5.1	58	0.5	6	0.1	5440
平成13年12月	91	0.8	638	5.3	1334	11.2	1254	10.5	827	6.9	666	5.6	586	4.9	68	0.6	5	0.0	5469
平成14年1月	89	0.7	641	5.4	1355	11.3	1256	10.5	842	7.0	676	5.7	586	4.9	79	0.7	8	0.1	5532
平成14年2月	91	0.8	631	5.3	1377	11.5	1267	10.6	859	7.2	709	5.9	578	4.8	78	0.7	9	0.1	5599
平成14年3月	89	0.7	639	5.3	1402	11.7	1288	10.8	892	7.5	716	6.0	594	5.0	60	0.5	10	0.1	5690
平成14年4月	86	0.7	661	5.5	1416	11.9	1319	11.0	909	7.6	716	6.0	599	5.0	59	0.5	7	0.1	5772
平成14年5月	86	0.7	689	5.8	1447	12.1	1341	11.2	915	7.7	709	5.9	596	5.0	76	0.6	9	0.1	5868
平成14年6月	86	0.7	717	6.0	1503	12.6	1349	11.3	930	7.8	699	5.9	610	5.1	53	0.4	12	0.1	5959
平成14年7月	86	0.7	757	6.3	1558	13.0	1361	11.4	919	7.7	713	6.0	626	5.2	55	0.5	6	0.1	6081
平成14年8月	86	0.7	776	6.5	1607	13.5	1382	11.6	904	7.6	710	5.9	625	5.2	73	0.6	9	0.1	6172
平成14年9月	82	0.7	798	6.7	1641	13.7	1386	11.6	921	7.7	721	6.0	630	5.3	58	0.5	9	0.1	6246
平成14年10月	81	0.7	840	7.0	1682	14.1	1384	11.6	897	7.5	717	6.0	648	5.4	75	0.6	1	0.0	6325
平成14年11月	81	0.7	854	7.1	1727	14.5	1394	11.7	887	7.4	718	6.0	659	5.5	75	0.6	19	0.2	6414
平成14年12月	80	0.7	856	7.2	1755	14.7	1418	11.9	888	7.4	720	6.0	641	5.4	81	0.7	8	0.1	6447
平成15年1月	81	0.7	850	7.1	1777	14.9	1435	12.0	879	7.4	738	6.2	635	5.3	80	0.7	4	0.0	6479
平成15年2月	79	0.7	857	7.2	1792	15.0	1420	11.9	909	7.6	751	6.3	649	5.4	101	0.8	9	0.1	6567
平成15年3月	79	0.7	855	7.2	1846	15.5	1406	11.8	890	7.5	770	6.4	654	5.5	96	0.8	8	0.1	6604
平成15年4月	77	0.6	854	7.1	1905	15.9	1398	11.7	893	7.5	766	6.4	665	5.6	81	0.7	8	0.1	6647
平成15年5月	80	0.7	840	7.0	1925	16.1	1390	11.6	896	7.5	750	6.3	701	5.9	72	0.6	9	0.1	6663
平成15年6月	78	0.7	842	7.0	1982	16.6	1364	11.4	898	7.5	751	6.3	722	6.0	73	0.6	8	0.1	6718
平成15年7月	77	0.6	839	7.0	2064	17.3	1332	11.2	907	7.6	756	6.3	733	6.1	68	0.6	10	0.1	6786
平成15年8月	74	0.6	848	7.1	2127	17.8	1317	11.0	873	7.3	763	6.4	753	6.3	76	0.6	8	0.1	6839
平成15年9月	75	0.6	840	7.0	2206	18.5	1267	10.6	889	7.4	767	6.4	780	6.5	79	0.7	10	0.1	6913
平成15年10月	75	0.6	871	7.3	2303	19.3	1224	10.2	891	7.5	791	6.6	813	6.8	77	0.6	6	0.1	7051
平成15年11月	74	0.6	880	7.4	2341	19.6	1215	10.2	882	7.4	795	6.7	823	6.9	74	0.6	1	0.0	7085
平成15年12月	76	0.6	877	7.3	2379	19.9	1222	10.2	887	7.4	805	6.7	816	6.8	71	0.6	12	0.1	7145
平成16年1月	75	0.6	867	7.3	2454	20.5	1238	10.4	876	7.3	817	6.8	834	7.0	88	0.7	8	0.1	7257
平成16年2月	73	0.6	877	7.3	2508	21.0	1242	10.4	904	7.6	828	6.9	828	6.9	83	0.7	6	0.1	7349
平成16年3月	73	0.6	891	7.5	2535	21.2	1266	10.6	929	7.8	835	7.0	829	6.9	102	0.9	8	0.1	7468

5) 年齢階層別の二次判定

要介護度は年齢に応じて重度になる傾向は、みらない。しかし、「65歳未満」から「75歳以上85歳未満」までは、要支援・要介護1の軽度の要介護者の比率が順に高くなっている。

表 III-1-28 年齢階層別の二次判定の分布

年齢階層	二次判定															
	非該当		要支援		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		合計	
	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%
65歳未満	2	0.2	70	5.5	318	25.2	349	27.7	208	16.5	159	12.6	156	12.4	1262	100.0
65歳以上75歳未満	49	0.7	1095	14.7	2211	29.6	1524	20.4	1095	14.7	802	10.7	698	9.3	7474	100.0
75歳以上85歳未満	94	0.6	2518	15.6	4937	30.5	3380	20.9	2204	13.6	1690	10.4	1363	8.4	16186	100.0
85歳以上95歳未満	23	0.2	1323	9.9	3407	25.4	3165	23.6	2282	17.0	1839	13.7	1383	10.3	13422	100.0
95歳以上	1	0.1	47	3.8	147	11.9	240	19.4	241	19.5	312	25.2	250	20.2	1238	100.0
合計	169	0.4	5053	12.8	11020	27.8	8658	21.9	6030	15.2	4802	12.1	3850	9.7	39582	100.0

6) 性別の要介護度の分布

男女共に、最も構成比が高いのは、要介護1であった。しかし、男性より女性の方が、要支援・要介護1という軽度の要介護者の比率は高かった。男性は、女性に比較して、要介護3、4の割合が高くなっていた。

表 III-1-29 性別の二次判定の分布

性別	二次判定															
	非該当		要支援		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		合計	
	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%
男	57	0.5	1169	9.8	2982	24.9	2902	24.2	2085	17.4	1600	13.4	1181	9.9	11976	100.0
女	112	0.4	3884	14.1	8038	29.1	5756	20.9	3945	14.3	3202	11.6	2669	9.7	27606	100.0
合計	169	0.4	5053	12.8	11020	27.8	8658	21.9	6030	15.2	4802	12.1	3850	9.7	39582	100.0

7) 性別の年齢階層別の二次判定

男性は、「65歳未満」から「75歳以上85歳未満」までの要支援・要介護1の軽度の要介護者の比率が高かった。女性は、「65歳以上75歳未満」までは、軽度の要介護者の比率が高

く、男性に比較して年齢が高くなっても軽度の要介護者の比率が高かった。しかし、75歳以上になると、要介護1が減少し、要介護2以上の割合が高くなっていた。

表 III-1-30 性別の年齢階層別の二次判定の分布

性別	年齢階層	二次判定															
		非該当		要支援		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		合計	
		N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%
男	65歳未満	1	0.2	21	3.7	132	23.1	162	28.3	100	17.5	81	14.2	75	13.1	572	100.0
	65歳以上75歳未満	16	0.5	248	7.8	734	23.1	761	23.9	563	17.7	464	14.6	398	12.5	3184	100.0
	75歳以上85歳未満	31	0.6	545	11.3	1252	25.9	1150	23.8	796	16.5	625	12.9	430	8.9	4829	100.0
	85歳以上95歳未満	9	0.3	342	10.8	824	26.1	766	24.3	573	18.2	390	12.4	249	7.9	3153	100.0
	95歳以上	0	0.0	13	5.5	40	16.8	63	26.5	53	22.3	40	16.8	29	12.2	238	100.0
	合計	57	0.5	1169	9.8	2982	24.9	2902	24.2	2085	17.4	1600	13.4	1181	9.9	11976	100.0
女	65歳未満	1	0.1	49	7.1	186	27.0	187	27.1	108	15.7	78	11.3	81	11.7	690	100.0
	65歳以上75歳未満	33	0.8	847	19.7	1477	34.4	763	17.8	532	12.4	338	7.9	300	7.0	4290	100.0
	75歳以上85歳未満	63	0.6	1973	17.4	3685	32.4	2230	19.6	1408	12.4	1065	9.4	933	8.2	11357	100.0
	85歳以上95歳未満	14	0.1	981	9.6	2583	25.2	2399	23.4	1709	16.6	1449	14.1	1134	11.0	10269	100.0
	95歳以上	1	0.1	34	3.4	107	10.7	177	17.7	188	18.8	272	27.2	221	22.1	1000	100.0
	合計	112	0.4	3884	14.1	8038	29.1	5756	20.9	3945	14.3	3202	11.6	2669	9.7	27606	100.0

8) 一次判定と二次判定との関係

二次判定でも一次判定と同様に、要介護1が11020名(27.8%)となり、最も割合が高く、次いで要介護2が8658名(21.9%)、要介護3が6030名(15.2%)、要支援5053名(12.8%)、要介護4が4802名(12.1%)、要介護5が3850名で9.7%と示された。

しかし、二次判定では、非該当、要支援、要介護1の割合は、4割程度であった。これは、一次判定で要支援や要介護1と判定された軽度の要介護者がより高い要介護度に認定が変更されていることを示している。

表 III-1-31 二次判定の分布

二次判定	N	%
非該当	169	0.4
要支援	5053	12.8
要介護1	11020	27.8
要介護2	8658	21.9
要介護3	6030	15.2
要介護4	4802	12.1
要介護5	3850	9.7
合計	39582	100.0

表 III-1-32 一次判定と二次判定の関係

	二次判定														合計		
	非該当		要支援		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5				
	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	
一 次 判 定	非該当	150	0.4	444	1.1	41	0.1	2	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	637	1.6
	要支援	18	0.0	2709	6.8	2153	5.4	100	0.3	5	0.0	0	0.0	0	0.0	4985	12.6
	要介護1	1	0.0	1824	4.6	7814	19.7	3266	8.3	365	0.9	5	0.0	0	0.0	13275	33.5
	要介護2	0	0.0	72	0.2	979	2.5	4409	11.1	1522	3.8	76	0.2	5	0.0	7063	17.8
	要介護3	0	0.0	4	0.0	33	0.1	831	2.1	3193	8.1	1199	3.0	125	0.3	5385	13.6
	要介護4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	42	0.1	780	2.0	2781	7.0	909	2.3	4512	11.4
	要介護5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	8	0.0	165	0.4	741	1.9	2810	7.1	3724	9.4
合計	169	0.4	5053	12.8	11020	27.8	8658	21.9	6030	15.2	4802	12.1	3849	9.7	39581	100.0	

表 III-1-33 介護度別の二次判定 (新規)

二次判定(新規)

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	非該当	156	1.1	1.1	1.1
	要支援	2279	16.3	16.3	17.4
	要介護1	4849	34.6	34.6	52.0
	要介護2	2733	19.5	19.5	71.5
	要介護3	1667	11.9	11.9	83.4
	要介護4	1337	9.5	9.5	93.0
	要介護5	986	7.0	7.0	100.0
	合計	14007	100.0	100.0	

表 III-1-34 介護度別の二次判定 (更新)

二次判定(更新)

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	非該当	13	.1	.1	.1
	要支援	2772	11.2	11.2	11.2
	要介護1	6155	24.8	24.8	36.0
	要介護2	5813	23.4	23.4	59.4
	要介護3	4160	16.7	16.7	76.1
	要介護4	3243	13.0	13.0	89.1
	要介護5	2700	10.9	10.9	100.0
	合計	24856	100.0	100.0	

9) 新規および更新別の一次判定と二次判定との関係

新規認定者の軽度の認定者において最も認定変更が行われている割合が高いのは、非該当とされたものであり、これらの60.3%が要支援と変更されていた。次いで多いのは、要支援と認定されたもので、これらの41.8%が要介護1へと変更されていた。新規認定者の一次判定と二次判定の一致率は、59.7%であった。

更新認定者において最も認定変更が行われている割合が高いのは、非該当と認定されたものであり、これらの84.8%が要支援と変更されていた。次いで多いのは、要支援と認定されたもので、これらの44.2%が要介護1へと変更されていた。更新認定者における一致率は、52.8%と新規認定者に比較して、低下することが明らかにされた。

表 III-1-35 一次判定と二次判定と申請種別のクロス表

申請種別			二次判定							合計	
			非該当	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5		
新規	一次判定	非該当	度数	139	237	16	1	0	0	0	393
		一次判定の%	35.4%	60.3%	4.1%	.3%	.0%	.0%	.0%	.0%	100.0%
		要支援	度数	18	1212	899	20	2	0	0	2149
		一次判定の%	.7%	56.4%	41.8%	.9%	.1%	.0%	.0%	.0%	100.0%
		要介護1	度数	1	789	3457	824	53	0	0	5124
		一次判定の%	.0%	15.4%	67.5%	16.1%	1.0%	.0%	.0%	.0%	100.0%
		要介護2	度数	0	40	461	1546	326	9	0	2382
		一次判定の%	.0%	1.7%	19.4%	64.9%	13.7%	.4%	.0%	.0%	100.0%
		要介護3	度数	0	1	16	316	984	295	20	1632
		一次判定の%	.0%	.1%	1.0%	19.4%	60.3%	18.1%	1.2%	.0%	100.0%
	要介護4	度数	0	0	0	23	235	764	179	1201	
	一次判定の%	.0%	.0%	.0%	1.9%	19.6%	63.6%	14.9%	.0%	100.0%	
	要介護5	度数	0	0	0	3	67	269	787	1126	
	一次判定の%	.0%	.0%	.0%	.3%	6.0%	23.9%	69.9%	.0%	100.0%	
合計		度数	156	2279	4849	2733	1667	1337	986	14007	
		一次判定の%	1.1%	16.3%	34.6%	19.5%	11.9%	9.5%	7.0%	100.0%	
更新	一次判定	非該当	度数	11	207	25	1	0	0	0	244
		一次判定の%	4.5%	84.8%	10.2%	.4%	.0%	.0%	.0%	.0%	100.0%
		要支援	度数	2	1496	1252	78	3	0	0	2831
		一次判定の%	.1%	52.8%	44.2%	2.8%	.1%	.0%	.0%	.0%	100.0%
		要介護1	度数	0	1034	4345	2409	306	5	0	8099
		一次判定の%	.0%	12.8%	53.6%	29.7%	3.8%	.1%	.0%	.0%	100.0%
		要介護2	度数	0	32	516	2799	1160	65	5	4577
		一次判定の%	.0%	.7%	11.3%	61.2%	25.3%	1.4%	.1%	.0%	100.0%
		要介護3	度数	0	3	17	505	2088	869	105	3587
		一次判定の%	.0%	.1%	.5%	14.1%	58.2%	24.2%	2.9%	.0%	100.0%
	要介護4	度数	0	0	0	18	512	1893	705	3128	
	一次判定の%	.0%	.0%	.0%	.6%	16.4%	60.5%	22.5%	.0%	100.0%	
	要介護5	度数	0	0	0	3	91	411	1884	2389	
	一次判定の%	.0%	.0%	.0%	.1%	3.8%	17.2%	78.9%	.0%	100.0%	
合計		度数	13	2772	6155	5813	4160	3243	2699	24855	
		一次判定の%	.1%	11.2%	24.8%	23.4%	16.7%	13.0%	10.8%	100.0%	
区分変更	一次判定	要支援	度数	1	2	2	0	0	0	0	5
		一次判定の%	20.0%	40.0%	40.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	100.0%
		要介護1	度数	1	12	33	6	0	0	0	52
		一次判定の%	1.9%	23.1%	63.5%	11.5%	.0%	.0%	.0%	.0%	100.0%
		要介護2	度数	0	2	64	36	2	0	0	104
		一次判定の%	.0%	1.9%	61.5%	34.6%	1.9%	.0%	.0%	.0%	100.0%
		要介護3	度数	0	0	10	121	35	0	0	166
		一次判定の%	.0%	.0%	6.0%	72.9%	21.1%	.0%	.0%	.0%	100.0%
		要介護4	度数	0	0	1	33	124	25	0	183
		一次判定の%	.0%	.0%	.5%	18.0%	67.8%	13.7%	.0%	.0%	100.0%
	要介護5	度数	0	0	2	7	61	139	0	209	
	一次判定の%	.0%	.0%	1.0%	3.3%	29.2%	66.5%	.0%	.0%	100.0%	
合計		度数	2	16	112	203	222	164	0	719	
		一次判定の%	.3%	2.2%	15.6%	28.2%	30.9%	22.8%	.0%	100.0%	

10) 新規認定者の申請年度別年齢階層別要介護度の分布傾向

新規に認定を受けた人々と更新認定者の年齢階層別に要介護度の分布について分析した。新規認定者の認定は、14007回実施されていた。年齢階層別には、75-85歳未満の高齢者の割合が高く、42.5%で、次いで85-95歳未満が29.9%と示された。一方、更新認定者は、24856回の認定を受けており、新規認定者と同様に75-85歳未満の割合が最も高く40.1%、次いで85-95歳未満が35.9%と示された。

新規、更新認定者の両群の一次判定結果および二次判定結果のそれぞれについて解析をしたが、全体的に二次判定のほうが、要介護度が高くなる傾向が示されていたが、これは、更新認定者のほうに多い傾向がみられた。

新規認定者の年齢階層別の平成11年度および12年度の要介護度（一次判定）の分布をみると75歳未満では、平成12年度は、要支援の割合が高くなる傾向があったが、平成13年度は、再び要介護1の割合が高くなり、平成14年度にまた減少し、平成15年度に増加するという傾向が示されていた。

75歳から85歳未満の場合は、平成14年度まで要支援、要介護1の割合が増え続けていた。平成15年度には、要介護1の割合が増加し、要支援、要介護2が減少する傾向があった。85歳から95歳までは、平成12年度から順次15年度まで、要介護1が増加していた。平成13年度からは、要介護1の増加と要介護2や4の減少が示されていた。平成15年度は、とくに要介護1の割合が高かった。

95歳以上は、年度によって要介護度分布の傾向が異なっていた。平成12年度は、初年度に比較して、要介護1、2が増加し、要介護3、4が減少していたが平成13年度は、要介護1,2が減少し、要介護4、5の割合が増加していた。平成14年度は、要介護5の割合が減少し、要介護3の割合が増加していた。平成15年度は、要介護1が増加していた。

全般的に平成13年から15年度にかけて、75歳以上の後期高齢者層に要介護度が低い者の割合が高くなる傾向があった。これは、平成13年度から要介護認定を受ける高齢者の年齢階層が低くなっていることを示唆している。更新認定者は、いずれの年齢階層においても要介護1および2の割合が高く、全体の約5割を占めていた。

また、平成15年度は、14年度に比較して、新規認定者、更新認定者、両群の65-95歳未満のすべての年齢階層で要介護2の割合が減少して要介護1が増加する傾向が示された。

表 Ⅲ-1-36 新規認定者の申請年度と一次判定と年齢種別のクロス表

申請年度と一次判定と年齢階層のクロス表

年齢階層	申請年度	平成11年度	度数	申請年度の%	一次判定						合計	
					非該当	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4		要介護5
65歳未満	申請年度	平成11年度	度数	1	8%	4	26	24	27	19	26	127
		申請年度の%	0.8%	3.1%	20.5%	18.9%	21.3%	15.0%	20.5%	100.0%		
	平成12年度	度数	0	0%	18	30	24	12	14	8	106	
		申請年度の%	0.0%	17.0%	28.3%	22.6%	11.3%	13.2%	7.5%	100.0%		
	平成13年度	度数	1	1.1%	11	38	20	8	7	9	94	
		申請年度の%	1.1%	11.7%	40.4%	21.3%	8.5%	7.4%	9.6%	100.0%		
	平成14年度	度数	0	0%	14	33	24	12	10	8	101	
		申請年度の%	0.0%	13.9%	32.7%	23.8%	11.9%	9.9%	7.9%	100.0%		
	平成15年度	度数	1	1.0%	9	43	17	12	9	9	100	
		申請年度の%	1.0%	9.0%	43.0%	17.0%	12.0%	9.0%	9.0%	100.0%		
合計	度数	3	3.6%	56	170	109	71	59	60	528		
申請年度の%	3.6%	10.6%	32.2%	20.6%	13.4%	11.2%	11.4%	100.0%				
65歳以上75歳未満	申請年度	平成11年度	度数	31	4.4%	65	165	129	105	97	119	711
		申請年度の%	4.4%	9.1%	23.2%	18.1%	14.8%	13.6%	16.7%	100.0%		
	平成12年度	度数	20	3.9%	87	177	108	42	42	42	518	
		申請年度の%	3.9%	18.8%	34.2%	20.8%	8.1%	8.1%	8.1%	100.0%		
	平成13年度	度数	25	4.6%	96	189	89	68	33	41	541	
		申請年度の%	4.6%	17.7%	34.9%	16.5%	12.6%	6.1%	7.6%	100.0%		
	平成14年度	度数	18	2.9%	132	267	88	52	30	38	625	
		申請年度の%	2.9%	21.1%	42.7%	14.1%	8.3%	4.8%	6.1%	100.0%		
	平成15年度	度数	17	2.6%	100	326	77	47	51	29	647	
		申請年度の%	2.6%	15.5%	50.4%	11.9%	7.3%	7.9%	4.5%	100.0%		
合計	度数	111	3.6%	480	1124	491	314	253	269	3042		
申請年度の%	3.6%	15.8%	38.9%	16.1%	10.3%	8.3%	8.8%	100.0%				
75歳以上85歳未満	申請年度	平成11年度	度数	66	4.4%	156	431	282	226	198	145	1504
		申請年度の%	4.4%	10.4%	28.7%	18.8%	15.0%	13.2%	9.6%	100.0%		
	平成12年度	度数	29	3.0%	143	378	200	99	44	67	960	
		申請年度の%	3.0%	14.9%	39.4%	20.8%	10.3%	4.6%	7.0%	100.0%		
	平成13年度	度数	26	2.4%	231	411	214	94	47	64	1087	
		申請年度の%	2.4%	21.3%	37.8%	19.7%	8.6%	4.3%	5.9%	100.0%		
	平成14年度	度数	34	3.0%	267	479	156	86	59	43	1124	
		申請年度の%	3.0%	23.8%	42.6%	13.9%	7.7%	5.2%	3.8%	100.0%		
	平成15年度	度数	58	4.6%	253	610	141	89	67	55	1273	
		申請年度の%	4.6%	19.9%	47.9%	11.1%	7.0%	5.3%	4.3%	100.0%		
合計	度数	213	3.6%	1050	2309	993	594	415	374	5948		
申請年度の%	3.6%	17.7%	38.8%	16.7%	10.0%	7.0%	6.3%	100.0%				
85歳以上95歳未満	申請年度	平成11年度	度数	20	1.6%	82	315	253	247	215	140	1272
		申請年度の%	1.6%	6.4%	24.8%	19.9%	19.4%	16.9%	11.0%	100.0%		
	平成12年度	度数	11	1.5%	89	278	146	97	65	64	750	
		申請年度の%	1.5%	11.9%	37.1%	19.5%	12.9%	8.7%	8.5%	100.0%		
	平成13年度	度数	7	1.0%	103	271	134	75	49	71	710	
		申請年度の%	1.0%	14.5%	38.2%	18.9%	10.6%	6.9%	10.0%	100.0%		
	平成14年度	度数	4	0.6%	137	260	109	79	49	63	701	
		申請年度の%	0.6%	19.5%	37.1%	15.5%	11.3%	7.0%	9.0%	100.0%		
	平成15年度	度数	22	2.9%	135	335	95	87	39	38	751	
		申請年度の%	2.9%	18.0%	44.6%	12.6%	11.6%	5.2%	5.1%	100.0%		
合計	度数	64	1.5%	546	1459	737	585	417	378	4184		
申請年度の%	1.5%	13.0%	34.9%	17.6%	14.0%	10.0%	9.0%	100.0%				
95歳以上	申請年度	平成11年度	度数	1	0.8%	3	12	23	38	24	21	122
		申請年度の%	0.8%	2.5%	9.8%	18.9%	31.1%	19.7%	17.2%	100.0%		
	平成12年度	度数	0	0%	2	13	12	6	2	6	41	
		申請年度の%	0.0%	4.9%	31.7%	29.3%	14.6%	4.9%	14.6%	100.0%		
	平成13年度	度数	0	0%	1	8	7	6	10	8	40	
		申請年度の%	0.0%	2.5%	20.0%	17.5%	15.0%	25.0%	20.0%	100.0%		
	平成14年度	度数	1	1.8%	6	12	6	11	14	7	57	
		申請年度の%	1.8%	10.5%	21.1%	10.5%	19.3%	24.6%	12.3%	100.0%		
	平成15年度	度数	0	0%	5	17	4	7	7	5	45	
		申請年度の%	0.0%	11.1%	37.8%	8.9%	15.6%	15.6%	11.1%	100.0%		
合計	度数	2	0.7%	17	62	52	68	57	47	305		
申請年度の%	0.7%	5.6%	20.3%	17.0%	22.3%	18.7%	15.4%	100.0%				

1 1) 更新認定者の申請年度別年齢階層別要介護度の分布傾向

更新認定者は、95 歳以上を除けば、要介護 1 の割合が高く、次いで要介護 2 と示され年度毎に顕著な差は、示されなかった。

表 III-1-37 更新認定者の申請年度と一次判定と年齢種別のクロス表

年齢階層			申請年度と一次判定と年齢階層のクロス表							合計	
			非該当	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5		
65歳未満	申請年度	平成12年度	度数	0	9	66	46	25	29	24	199
		申請年度の%	0%	4.5%	33.2%	23.1%	12.6%	14.6%	12.1%	100.0%	
	平成13年度	度数	0	17	48	48	31	26	20	190	
		申請年度の%	0%	8.9%	25.3%	25.3%	16.3%	13.7%	10.5%	100.0%	
	平成14年度	度数	0	13	51	33	16	23	28	164	
		申請年度の%	0%	7.9%	31.1%	20.1%	9.8%	14.0%	17.1%	100.0%	
	平成15年度	度数	2	13	58	25	23	21	27	169	
		申請年度の%	1.2%	7.7%	34.3%	14.8%	13.6%	12.4%	16.0%	100.0%	
	合計		度数	2	52	223	152	95	99	99	722
			申請年度の%	0.3%	7.2%	30.9%	21.1%	13.2%	13.7%	13.7%	100.0%
65歳以上75歳未満	申請年度	平成12年度	度数	23	106	311	212	188	132	136	1108
		申請年度の%	2.1%	9.6%	28.1%	19.2%	16.8%	11.9%	12.3%	100.0%	
	平成13年度	度数	10	153	352	225	150	126	119	1135	
		申請年度の%	0.9%	13.5%	31.0%	19.8%	13.2%	11.1%	10.5%	100.0%	
	平成14年度	度数	17	173	347	175	139	120	107	1078	
		申請年度の%	1.6%	16.0%	32.2%	16.2%	12.9%	11.1%	9.9%	100.0%	
	平成15年度	度数	11	143	371	163	131	125	81	1025	
		申請年度の%	1.1%	14.0%	36.2%	15.9%	12.8%	12.2%	7.9%	100.0%	
	合計		度数	61	575	1381	775	606	503	443	4344
			申請年度の%	1.4%	13.2%	31.8%	17.8%	14.0%	11.6%	10.2%	100.0%
75歳以上85歳未満	申請年度	平成12年度	度数	23	259	808	551	336	287	197	2461
		申請年度の%	0.9%	10.5%	32.8%	22.4%	13.7%	11.7%	8.0%	100.0%	
	平成13年度	度数	29	346	894	541	339	258	194	2601	
		申請年度の%	1.1%	13.3%	34.4%	20.8%	13.0%	9.9%	7.5%	100.0%	
	平成14年度	度数	27	425	840	393	297	268	239	2489	
		申請年度の%	1.1%	17.1%	33.7%	15.8%	11.9%	10.8%	9.6%	100.0%	
	平成15年度	度数	45	341	915	322	270	271	242	2406	
		申請年度の%	1.9%	14.2%	38.0%	13.4%	11.2%	11.3%	10.1%	100.0%	
	合計		度数	124	1371	3457	1807	1242	1084	872	9957
			申請年度の%	1.2%	13.8%	34.7%	18.1%	12.5%	10.9%	8.8%	100.0%
85歳以上95歳未満	申請年度	平成12年度	度数	12	167	668	430	399	313	214	2203
		申請年度の%	0.5%	7.6%	30.3%	19.5%	18.1%	14.2%	9.7%	100.0%	
	平成13年度	度数	12	198	783	509	416	298	198	2414	
		申請年度の%	0.5%	8.2%	32.4%	21.1%	17.2%	12.3%	8.2%	100.0%	
	平成14年度	度数	7	233	756	398	308	306	204	2212	
		申請年度の%	0.3%	10.5%	34.2%	18.0%	13.9%	13.8%	9.2%	100.0%	
	平成15年度	度数	24	209	662	361	337	298	212	2103	
		申請年度の%	1.1%	9.9%	31.5%	17.2%	16.0%	14.2%	10.1%	100.0%	
	合計		度数	55	807	2869	1698	1460	1215	828	8932
			申請年度の%	0.6%	9.0%	32.1%	19.0%	16.3%	13.6%	9.3%	100.0%
95歳以上	申請年度	平成12年度	度数	0	5	36	33	52	53	29	208
		申請年度の%	0%	2.4%	17.3%	15.9%	25.0%	25.5%	13.9%	100.0%	
	平成13年度	度数	0	3	39	48	54	44	31	219	
		申請年度の%	0%	1.4%	17.8%	21.9%	24.7%	20.1%	14.2%	100.0%	
	平成14年度	度数	1	6	45	32	37	63	43	227	
		申請年度の%	0.4%	2.6%	19.8%	14.1%	16.3%	27.8%	18.9%	100.0%	
	平成15年度	度数	1	12	49	32	41	67	44	246	
		申請年度の%	0.4%	4.9%	19.9%	13.0%	16.7%	27.2%	17.9%	100.0%	
	合計		度数	2	26	169	145	184	227	147	900
			申請年度の%	0.2%	2.9%	18.8%	16.1%	20.4%	25.2%	16.3%	100.0%

1 2) 新規認定者の年齢階層別要介護度認定（二次判定）の結果

新規認定者の年齢階層別の二次判定の特徴は、平成15年度に、95歳以上を除いたすべての年齢階層において要介護1の割合が増加していることである。65歳未満では、48.0%、65歳以上75歳未満では、49.3%、75歳以上85歳未満では47.7%、85歳以上95歳未満では、46.3%と高い割合を示していた。

表 III-1-38 新規認定者の申請年度と二次判定と年齢種別のクロス表

年齢階層		申請年度		二次判定							合計
				非該当	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
65歳未満	申請年度	平成11年度	度数	0	4	19	36	21	29	19	127
		申請年度の%	.0%	3.1%	15.0%	27.6%	16.5%	22.8%	15.0%	100.0%	
	平成12年度	度数	0	10	29	28	19	13	7	106	
		申請年度の%	.0%	9.4%	27.4%	26.4%	17.9%	12.3%	6.6%	100.0%	
	平成13年度	度数	0	9	35	23	10	10	7	94	
		申請年度の%	.0%	9.6%	37.2%	24.5%	10.6%	10.6%	7.4%	100.0%	
	平成14年度	度数	0	9	38	23	12	8	11	101	
		申請年度の%	.0%	8.9%	37.6%	22.8%	11.9%	7.9%	10.8%	100.0%	
	平成15年度	度数	2	4	48	15	14	8	9	100	
		申請年度の%	2.0%	4.0%	48.0%	15.0%	14.0%	8.0%	9.0%	100.0%	
合計		度数	2	36	169	124	76	68	53	528	
		申請年度の%	.4%	6.8%	32.0%	23.5%	14.4%	12.9%	10.0%	100.0%	
65歳以上75歳未満	申請年度	平成11年度	度数	19	84	130	146	118	98	116	711
		申請年度の%	2.7%	11.8%	18.3%	20.5%	16.6%	13.8%	16.3%	100.0%	
	平成12年度	度数	9	89	177	116	58	38	31	518	
		申請年度の%	1.7%	17.2%	34.2%	22.4%	11.2%	7.3%	6.0%	100.0%	
	平成13年度	度数	10	112	187	101	70	39	22	541	
		申請年度の%	1.8%	20.7%	34.6%	18.7%	12.9%	7.2%	4.1%	100.0%	
	平成14年度	度数	2	146	250	110	54	38	25	625	
		申請年度の%	.3%	23.4%	40.0%	17.6%	8.6%	6.1%	4.0%	100.0%	
	平成15年度	度数	6	108	319	83	51	52	28	647	
		申請年度の%	.9%	16.7%	49.3%	12.8%	7.9%	8.0%	4.3%	100.0%	
合計		度数	46	539	1063	556	351	265	222	3042	
		申請年度の%	1.5%	17.7%	34.8%	18.3%	11.5%	8.7%	7.3%	100.0%	
75歳以上85歳未満	申請年度	平成11年度	度数	44	201	321	326	222	216	174	1504
		申請年度の%	2.9%	13.4%	21.3%	21.7%	14.8%	14.4%	11.6%	100.0%	
	平成12年度	度数	15	174	375	196	94	71	35	960	
		申請年度の%	1.6%	18.1%	39.1%	20.4%	9.6%	7.4%	3.6%	100.0%	
	平成13年度	度数	10	221	437	223	95	58	43	1087	
		申請年度の%	.9%	20.3%	40.2%	20.5%	8.7%	5.3%	4.0%	100.0%	
	平成14年度	度数	9	244	483	201	90	61	36	1124	
		申請年度の%	.8%	21.7%	43.0%	17.9%	8.0%	5.4%	3.2%	100.0%	
	平成15年度	度数	9	276	607	170	93	60	58	1273	
		申請年度の%	.7%	21.7%	47.7%	13.4%	7.3%	4.7%	4.6%	100.0%	
合計		度数	87	1116	2223	1116	584	466	346	5948	
		申請年度の%	1.5%	18.8%	37.4%	18.8%	10.0%	7.8%	5.6%	100.0%	
85歳以上95歳未満	申請年度	平成11年度	度数	13	115	238	283	220	235	168	1272
		申請年度の%	1.0%	9.0%	18.7%	22.2%	17.3%	18.5%	13.2%	100.0%	
	平成12年度	度数	3	107	264	174	100	66	36	750	
		申請年度の%	.4%	14.3%	35.2%	23.2%	13.3%	8.8%	4.8%	100.0%	
	平成13年度	度数	4	104	246	154	101	71	30	710	
		申請年度の%	.6%	14.6%	34.6%	21.7%	14.2%	10.0%	4.2%	100.0%	
	平成14年度	度数	0	118	248	150	82	62	41	701	
		申請年度の%	.0%	16.8%	35.4%	21.4%	11.7%	8.8%	5.8%	100.0%	
	平成15年度	度数	0	128	348	113	84	39	39	751	
		申請年度の%	.0%	17.0%	46.3%	15.0%	11.2%	5.2%	5.2%	100.0%	
合計		度数	20	572	1344	874	587	473	314	4184	
		申請年度の%	.5%	13.7%	32.1%	20.8%	14.0%	11.3%	7.5%	100.0%	
95歳以上	申請年度	平成11年度	度数	1	4	9	21	29	28	30	122
		申請年度の%	.8%	3.3%	7.4%	17.2%	23.8%	23.0%	24.6%	100.0%	
	平成12年度	度数	0	2	9	16	7	2	5	41	
		申請年度の%	.0%	4.9%	22.0%	39.0%	17.1%	4.9%	12.2%	100.0%	
	平成13年度	度数	0	0	6	11	4	12	7	40	
		申請年度の%	.0%	.0%	15.0%	27.5%	10.0%	30.0%	17.5%	100.0%	
	平成14年度	度数	0	7	9	10	12	14	5	57	
		申請年度の%	.0%	12.3%	15.8%	17.5%	21.1%	24.6%	8.8%	100.0%	
	平成15年度	度数	0	3	17	5	7	9	4	45	
		申請年度の%	.0%	6.7%	37.8%	11.1%	15.6%	20.0%	8.9%	100.0%	
合計		度数	1	16	50	63	59	65	51	305	
		申請年度の%	.3%	5.2%	16.4%	20.7%	19.3%	21.3%	16.7%	100.0%	

1 3) 更新認定者の年齢階層別要介護度認定（二次判定）の結果

65歳未満では、平成12年度から14年度までは要介護2が3割を超えて最も高い割合を示していたが、平成15年度は、要介護1が31.4%と要介護2の15.4%のほぼ2倍を示していた。

65歳以上75歳未満では、平成12年度は、要介護2の割合が高かったが、平成13年度からは、要介護1の割合が増加し、平成15年度の割合は、34.9%を示していた。

75歳以上85歳未満でも、平成12年度と13年度は、要介護2の割合が高かったが、平成14年度からは、要介護1の割合が増加し、平成15年度の割合は、34.5%を示していた。

85歳以上95歳未満では、平成12年度から14年度まで要介護2の割合が高かったが、平成15年度は、要介護1の割合が高くなっていった。

95歳以上では、平成14年度に要介護5の割合が高いこと除くと、12,13,15年度共に要介護4の割合が高かった。

表 III-1-39 更新認定者の申請年度と二次判定と年齢種別のクロス表

年齢階層			申請年度と二次判定と年齢階層のクロス表							合計	
			要介護	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5			
65歳未満	申請年度	平成12年度	度数	9	36	70	33	22	27	199	
		申請年度の%	4.5%	19.1%	35.2%	16.6%	11.1%	13.6%	100.0%		
	平成13年度	度数	11	26	74	39	20	20	190		
		申請年度の%	5.8%	13.7%	38.9%	20.5%	10.5%	10.5%	100.0%		
	平成14年度	度数	4	32	55	28	21	24	164		
		申請年度の%	2.4%	19.5%	33.5%	17.1%	12.8%	14.6%	100.0%		
	平成15年度	度数	10	53	26	29	23	28	169		
		申請年度の%	5.9%	31.4%	15.4%	17.2%	13.6%	16.6%	100.0%		
	合計		度数	34	149	225	129	86	99	722	
			申請年度の%	4.7%	20.6%	31.2%	17.9%	11.9%	13.7%	100.0%	
65歳以上75歳未満	申請年度	平成12年度	度数	2	142	216	263	230	122	131	1106
		申請年度の%	2%	12.8%	19.5%	23.8%	20.8%	11.0%	11.8%	100.0%	
	平成13年度	度数	1	143	285	266	189	139	112	1135	
		申請年度の%	1%	12.6%	25.1%	23.4%	16.7%	12.2%	9.9%	100.0%	
	平成14年度	度数	0	150	286	235	159	135	113	1078	
		申請年度の%	0%	13.9%	26.5%	21.8%	14.7%	12.5%	10.5%	100.0%	
	平成15年度	度数	0	121	358	189	139	119	99	1025	
		申請年度の%	0%	11.8%	34.9%	18.4%	13.6%	11.6%	9.7%	100.0%	
	合計		度数	3	556	1145	953	717	515	455	4344
			申請年度の%	1%	12.8%	26.4%	21.9%	16.5%	11.9%	10.5%	100.0%
75歳以上85歳未満	申請年度	平成12年度	度数	3	347	563	585	446	290	227	2461
		申請年度の%	1%	14.1%	22.9%	23.6%	18.1%	11.8%	9.2%	100.0%	
	平成13年度	度数	2	377	654	664	418	269	218	2601	
		申請年度の%	1%	14.5%	25.1%	25.5%	16.1%	10.3%	8.4%	100.0%	
	平成14年度	度数	1	369	659	542	388	277	253	2489	
		申請年度の%	0%	14.8%	25.5%	21.8%	15.6%	11.1%	10.2%	100.0%	
	平成15年度	度数	1	307	829	413	283	306	267	2406	
		申請年度の%	0%	12.8%	34.5%	17.2%	11.8%	12.7%	11.1%	100.0%	
	合計		度数	7	1400	2705	2204	1535	1141	965	8957
			申請年度の%	1%	14.1%	27.2%	22.1%	15.4%	11.5%	9.7%	100.0%
85歳以上95歳未満	申請年度	平成12年度	度数	2	204	434	589	404	313	258	2204
		申請年度の%	1%	9.3%	19.7%	26.7%	18.3%	14.2%	11.7%	100.0%	
	平成13年度	度数	0	214	625	671	475	299	230	2414	
		申請年度の%	0%	8.9%	21.7%	27.8%	19.7%	12.4%	9.5%	100.0%	
	平成14年度	度数	0	182	621	557	376	332	244	2212	
		申請年度の%	0%	8.2%	23.6%	25.2%	17.0%	15.0%	11.0%	100.0%	
	平成15年度	度数	1	151	580	439	347	321	264	2103	
		申請年度の%	0%	7.2%	27.6%	20.9%	16.5%	15.3%	12.6%	100.0%	
	合計		度数	3	751	2060	2256	1602	1265	996	8633
			申請年度の%	0%	8.4%	23.1%	25.3%	17.9%	14.2%	11.1%	100.0%
95歳以上	申請年度	平成12年度	度数	7	17	44	46	56	38	208	
		申請年度の%	3.4%	8.2%	21.2%	22.1%	26.9%	18.3%	100.0%		
	平成13年度	度数	7	17	53	56	57	29	219		
		申請年度の%	3.2%	7.8%	24.2%	25.6%	26.0%	13.2%	100.0%		
	平成14年度	度数	8	22	43	35	58	61	227		
		申請年度の%	3.5%	9.7%	18.9%	15.4%	25.6%	26.9%	100.0%		
	平成15年度	度数	9	40	35	40	65	57	246		
		申請年度の%	3.7%	16.3%	14.2%	16.3%	26.4%	23.2%	100.0%		
	合計		度数	31	96	175	177	236	185	900	
			申請年度の%	3.4%	10.7%	19.4%	19.7%	26.2%	20.6%	100.0%	

(6) 申請年度別の要介護認定基準時間

1) 要介護認定基準時間の経年的変化 (全体)

要介護度における一次判定結果を算出するための要介護認定基準時間と中間評価項目得点の経年的変化を分析した。認定基準時間は、介護保険制度が開始された平成11年度が最も

長く 67.1 分と示され、他のすべての年度よりも有意に長かった。平成 12 年度も同様に、13,14,15 年度より、有意に長かった。平成 13 年度は、11,12 年度より、有意に短く、14 年度よりは、長かった。認定者全体の要介護認定基準時間は、平成 14 年度まで下降し続けたが、平成 15 年度に上昇していることがわかった。

表 III-1-40 認定申請年度別の要介護認定基準時間の変化

申請年度	基準時間				
	平均値	度数	最小値	最大値	標準偏差
平成 11 年度	67.1	3747	23.0	170.0	32.0
平成 12 年度	62.1	8660	0.0	176.0	30.6
平成 13 年度	60.0	9177	23.0	178.0	30.3
平成 14 年度	58.5	8965	23.0	159.0	31.6
平成 15 年度	59.7	9033	18.6	158.3	30.2
合計	60.7	39582	0.0	178.0	30.9

表 III-1-41 認定申請年度別の要介護認定基準時間の変化の多重比較

多重比較

従属変数: 基準時間

LSD

(I) 申請年度	(J) 申請年度	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率	95% 信頼区間	
					下限	上限
平成11年度	平成12年度	5.0064*	.6029	.000	3.825	6.188
	平成13年度	7.1649*	.5978	.000	5.993	8.337
	平成14年度	8.6052*	.5998	.000	7.430	9.781
	平成15年度	7.3982*	.5992	.000	6.224	8.573
平成12年度	平成11年度	-5.0064*	.6029	.000	-6.188	-3.825
	平成13年度	2.1585*	.4619	.000	1.253	3.064
	平成14年度	3.5988*	.4646	.000	2.688	4.509
	平成15年度	2.3918*	.4637	.000	1.483	3.301
平成13年度	平成11年度	-7.1649*	.5978	.000	-8.337	-5.993
	平成12年度	-2.1585*	.4619	.000	-3.064	-1.253
	平成14年度	1.4403*	.4579	.002	.543	2.338
	平成15年度	.2333	.4570	.610	-.662	1.129
平成14年度	平成11年度	-8.6052*	.5998	.000	-9.781	-7.430
	平成12年度	-3.5988*	.4646	.000	-4.509	-2.688
	平成13年度	-1.4403*	.4579	.002	-2.338	-.543
	平成15年度	-1.2070*	.4597	.009	-2.108	-.306
平成15年度	平成11年度	-7.3982*	.5992	.000	-8.573	-6.224
	平成12年度	-2.3918*	.4637	.000	-3.301	-1.483
	平成13年度	-.2333	.4570	.610	-1.129	.662
	平成14年度	1.2070*	.4597	.009	.306	2.108

*. 平均の差は .05 で有意

表 III-1-42 申請年度別の認定基準時間の多重比較

基準時間	申請年度	平均値I	申請年度	平均値J	平均値の差 (I-J)	標準誤差	95% 信頼区間		P
							下限	上限	
基準時間	平成11年度	67.12	平成12年度	62.11	5.01	0.60	3.31	6.70	0.00 **
			平成13年度	59.95	7.16	0.60	5.49	8.84	0.00 **
			平成14年度	58.51	8.61	0.60	6.92	10.29	0.00 **
			平成15年度	59.72	7.40	0.60	5.72	9.08	0.00 **
	平成12年度	62.11	平成11年度	67.12	-5.01	0.60	-6.70	-3.31	0.00 **
			平成13年度	59.95	2.16	0.46	0.86	3.46	0.00 **
			平成14年度	58.51	3.60	0.46	2.29	4.90	0.00 **
			平成15年度	59.72	2.39	0.46	1.09	3.69	0.00 **
	平成13年度	59.95	平成11年度	67.12	-7.16	0.60	-8.84	-5.49	0.00 **
			平成12年度	62.11	-2.16	0.46	-3.46	-0.86	0.00 **
			平成14年度	58.51	1.44	0.46	0.15	2.73	0.02 *
			平成15年度	59.72	0.23	0.46	-1.05	1.52	1.00
	平成14年度	58.51	平成11年度	67.12	-8.61	0.60	-10.29	-6.92	0.00 **
			平成12年度	62.11	-3.60	0.46	-4.90	-2.29	0.00 **
			平成13年度	59.95	-1.44	0.46	-2.73	-0.15	0.02 *
			平成15年度	59.72	-1.21	0.46	-2.50	0.08	0.09
平成15年度	59.72	平成11年度	67.12	-7.40	0.60	-9.08	-5.72	0.00 **	
		平成12年度	62.11	-2.39	0.46	-3.69	-1.09	0.00 **	
		平成13年度	59.95	-0.23	0.46	-1.52	1.05	1.00	
		平成14年度	58.51	1.21	0.46	-0.08	2.50	0.09	

*P<.05 ** P<.01

2) 新規認定者の要介護認定基準時間の分布

要介護認定基準時間は、平成11年度が67.13分で最も長かった。次いで長いのが平成12年度の55.45分であった。このように、11、12年度は、13年度から15年度の要介護認定

基準時間よりも長かった。また、平成13年度は、53.93分で、14年度の50.19分よりも長かったが、15年度50.30分とは、統計的には有意な差はなかった。

表 III-1-43 新規認定者の申請年度別の要介護認定基準時間の変化

記述統計

基準時間

	度数	平均値	標準偏差	標準誤差	平均値の95%信頼区間		最小値	最大値
					下限	上限		
平成11年度	3736	67.131	32.0558	.5244	66.103	68.159	23.0	170.0
平成12年度	2375	55.445	29.3987	.6032	54.262	56.628	23.0	168.0
平成13年度	2472	53.934	29.7839	.5990	52.759	55.109	23.0	159.0
平成14年度	2608	50.192	28.7410	.5628	49.089	51.296	23.0	152.0
平成15年度	2816	50.300	25.9539	.4891	49.341	51.259	20.5	153.6
合計	14007	56.283	30.2117	.2553	55.783	56.783	20.5	170.0

表 III-1-44 新規認定者の申請年度別の要介護認定基準時間の変化の多重比較

多重比較

従属変数: 基準時間

LSD

(I) 申請年度	(J) 申請年度	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率	95% 信頼区間	
					下限	上限
平成11年度	平成12年度	11.6858*	.7725	.000	10.172	13.200
	平成13年度	13.1968*	.7632	.000	11.701	14.693
	平成14年度	16.9388*	.7511	.000	15.467	18.411
	平成15年度	16.8307*	.7346	.000	15.391	18.271
平成12年度	平成11年度	-11.6858*	.7725	.000	-13.200	-10.172
	平成13年度	1.5110	.8458	.074	-.147	3.169
	平成14年度	5.2530*	.8349	.000	3.616	6.889
	平成15年度	5.1449*	.8200	.000	3.537	6.752
平成13年度	平成11年度	-13.1968*	.7632	.000	-14.693	-11.701
	平成12年度	-1.5110	.8458	.074	-3.169	.147
	平成14年度	3.7420*	.8263	.000	2.122	5.362
	平成15年度	3.6339*	.8113	.000	2.044	5.224
平成14年度	平成11年度	-16.9388*	.7511	.000	-18.411	-15.467
	平成12年度	-5.2530*	.8349	.000	-6.889	-3.616
	平成13年度	-3.7420*	.8263	.000	-5.362	-2.122
	平成15年度	-.1081	.7999	.893	-1.676	1.460
平成15年度	平成11年度	-16.8307*	.7346	.000	-18.271	-15.391
	平成12年度	-5.1449*	.8200	.000	-6.752	-3.537
	平成13年度	-3.6339*	.8113	.000	-5.224	-2.044
	平成14年度	.1081	.7999	.893	-1.460	1.676

*. 平均の差は .05 で有意

3) 更新認定者の要介護認定基準時間の分布

更新認定者は、平成12年度がどの年度よりも時間が長かった。平成13年度、14年度の間

には、有意な差はないが、平成 15 年度の認定基準時間が長くなったために、平成 13、14 年度の更新認定者は、15 年度よりも有意に短くなっていた。

全体として新認定における平成 15 年度の要介護認定基準時間が長くなったのは、更新認定を受けた高齢者の要介護認定基準時間が長くなったためと推察された。

表 III-1-45 年度別の更新認定者の要介護認定基準時間の分布

基準時間	度数	平均値	標準偏差	標準誤差	平均値の 95% 信頼区間		最小値	最大値
					下限	上限		
平成12年度	6178	64.037	30.4052	.3868	63.279	64.796	.0	176.0
平成13年度	6559	61.457	29.8878	.3690	60.733	62.180	23.0	178.0
平成14年度	6170	61.051	31.8462	.4054	60.256	61.846	23.0	159.0
平成15年度	5949	62.842	30.7912	.3992	62.059	63.625	18.6	154.9
合計	24856	62.329	30.7481	.1950	61.947	62.711	.0	178.0

表 III-1-46 更新認定者の要介護認定基準時間の分布の多重比較

多重比較

従属変数: 基準時間

LSD

(I) 申請年度	(J) 申請年度	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率	95% 信頼区間	
					下限	上限
平成12年度	平成13年度	2.5808*	.5448	.000	1.513	3.649
	平成14年度	2.9862*	.5530	.000	1.902	4.070
	平成15年度	1.1955*	.5582	.032	.101	2.289
平成13年度	平成12年度	-2.5808*	.5448	.000	-3.649	-1.513
	平成14年度	.4054	.5450	.457	-.663	1.474
	平成15年度	-1.3853*	.5501	.012	-2.464	-.307
平成14年度	平成12年度	-2.9862*	.5530	.000	-4.070	-1.902
	平成13年度	-.4054	.5450	.457	-1.474	.663
	平成15年度	-1.7907*	.5583	.001	-2.885	-.696
平成15年度	平成12年度	-1.1955*	.5582	.032	-2.289	-.101
	平成13年度	1.3853*	.5501	.012	.307	2.464
	平成14年度	1.7907*	.5583	.001	.696	2.885

*. 平均の差は .05 で有意

4) 新規及び更新認定者の要介護認定基準時間の分布

新規認定者においては、平成11年度の平均値は67.13分で最も長かった。平成12年～14年度までは、経年的に要介護認定基準時間は短くなっていったが、平成14年度50.19分と15年度50.30分の間には、有意な差は、なかった。

更新認定者においては、平成12年度が64.04分と最も長かった。平成13年度は、61.46分で平成12年度よりは、短かった。平成14年度は、12年度および15年度の62.84分より短かった。

表 III-1-47 申請年度別の認定基準時間の多重比較 (新規認定のみ)

基準時間	申請年度	平均値I	申請年度	平均値J	平均値の差 (I-J)	標準誤差	95% 信頼区間		P
							下限	上限	
基準時間	平成11年度	67.13	平成12年度	55.45	11.69	0.77	9.52	13.85	0.00 **
			平成13年度	53.93	13.20	0.76	11.05	15.34	0.00 **
			平成14年度	50.19	16.94	0.75	14.83	19.05	0.00 **
			平成15年度	50.30	16.83	0.73	14.77	18.89	0.00 **
	平成12年度	55.45	平成11年度	67.13	-11.69	0.77	-13.85	-9.52	0.00 **
			平成13年度	53.93	1.51	0.85	-0.86	3.89	0.74
			平成14年度	50.19	5.25	0.83	2.91	7.60	0.00 **
			平成15年度	50.30	5.14	0.82	2.84	7.45	0.00 **
	平成13年度	53.93	平成11年度	67.13	-13.20	0.76	-15.34	-11.05	0.00 **
			平成12年度	55.45	-1.51	0.85	-3.89	0.86	0.74
			平成14年度	50.19	3.74	0.83	1.42	6.06	0.00 **
			平成15年度	50.30	3.63	0.81	1.36	5.91	0.00 **
	平成14年度	50.19	平成11年度	67.13	-16.94	0.75	-19.05	-14.83	0.00 **
			平成12年度	55.45	-5.25	0.83	-7.60	-2.91	0.00 **
			平成13年度	53.93	-3.74	0.83	-6.06	-1.42	0.00 **
			平成15年度	50.30	-0.11	0.80	-2.35	2.14	1.00
平成15年度	50.30	平成11年度	67.13	-16.83	0.73	-18.89	-14.77	0.00 **	
		平成12年度	55.45	-5.14	0.82	-7.45	-2.84	0.00 **	
		平成13年度	53.93	-3.63	0.81	-5.91	-1.36	0.00 **	
		平成14年度	50.19	0.11	0.80	-2.14	2.35	1.00	

*P<.05, ** P<.01

表 III-1-48 申請年度別の認定基準時間の多重比較 (更新のみ)

基準時間	申請年度	平均値I	申請年度	平均値J	平均値の差 (I-J)	標準誤差	95% 信頼区間		P
							下限	上限	
基準時間	平成12年度	64.04	平成13年度	61.46	2.58	0.54	1.14	4.02	0.00 **
			平成14年度	61.05	2.99	0.55	1.53	4.45	0.00 **
			平成15年度	62.84	1.20	0.56	-0.28	2.67	0.19
	平成13年度	61.46	平成12年度	64.04	-2.58	0.54	-4.02	-1.14	0.00 **
			平成14年度	61.05	0.41	0.54	-1.03	1.84	1.00
			平成15年度	62.84	-1.39	0.55	-2.84	0.07	0.07
	平成14年度	61.05	平成12年度	64.04	-2.99	0.55	-4.45	-1.53	0.00 **
			平成13年度	61.46	-0.41	0.54	-1.84	1.03	1.00
			平成15年度	62.84	-1.79	0.56	-3.26	-0.32	0.01 *
	平成15年度	62.84	平成12年度	64.04	-1.20	0.56	-2.67	0.28	0.19
			平成13年度	61.46	1.39	0.55	-0.07	2.84	0.07
			平成14年度	61.05	1.79	0.56	0.32	3.26	0.01 *

*P<.05, ** P<.01

5) 年齢階層別申請年度別の要介護認定基準時間の分布

75歳以上85歳未満の認定基準時間が57.19分と最も短く、95歳以上が78.77分と最も長かった。95歳以上に次いで長かったのは、65歳未満の66.33分で、次いで85歳以上95歳未満の63.24分となっていた。要介護認定を受けている高齢者として最も高い構成比を示していた75歳以上85歳未満が57.19分と最も短かったこの傾向は、申請年度によって、ほとんど変化がなく、新規および更新認定者においても同様の傾向を示していた。

表 III-1-49 年齢階層別の要介護認定基準時間の分布

基準時間	度数	平均値	標準偏差	標準誤差	平均値の95%信頼区間		最小値	最大値
					下限	上限		
65歳未満	1262	66.331	32.1163	.9041	64.557	68.104	21.9	166.0
65歳以上75歳未満	7474	59.916	31.5715	.3652	59.201	60.632	20.5	165.0
75歳以上85歳未満	16186	57.185	30.1051	.2366	58.721	57.648	18.6	178.0
85歳以上95歳未満	13422	63.243	30.6121	.2642	62.725	63.761	.0	170.0
95歳以上	1238	78.774	30.1571	.8571	77.093	80.456	23.2	164.0
合計	39582	60.722	30.9260	.1554	60.417	61.026	.0	178.0

表 III-1-50 年齢階層別申請年度別の要介護認定基準時間の分布

	年齢階層	65歳未満	65歳以上 75歳未満	75歳以上 85歳未満	85歳以上 95歳未満	95歳以上
		申請年度	平成11年度	77.26	69.05	62.53
	平成12年度	65.05	62.51	58.76	64.13	77.57
	平成13年度	64.12	60.00	56.25	62.28	79.24
	平成14年度	65.11	56.23	54.99	61.54	79.25
	平成15年度	66.18	57.23	56.66	62.60	77.67

6) 年齢階層別新規認定者と更新認定者の要介護認定基準時間

すべての年齢階層において、新規認定者のほうが、更新認定者よりも認定基準時間が短かった。

表 III-1-51 年齢階層別新規認定者と更新認定者の要介護認定基準時間の分布

年齢階層	新規	更新
65歳未満	63.37	67.96
65歳以上75歳未満	56.25	61.85
75歳以上85歳未満	52.50	59.14
85歳以上95歳未満	59.396	63.98
95歳以上	75.57	78.97

(7) 申請年度別の中間評価項目得点の経年的変化

1) 中間評価項目得点(全体)の経年的変化

中間評価項目得点は、要介護度という総合的な評価ではなく、個々の要介護高齢者の身体

的、精神的機能、ADL 能力等を示す指標である。この得点の変化は、高齢者の状態像の変化をより、具体的に検証するために有効な得点であると考えられる。

この中間評価項目得点には、次の7群の得点がある。第1群は、「麻痺・拘縮に関連する項目」である。第2群は、「移動等に関連する項目」で、寝返り、起き上がり、両足での立位保持、歩行、移乗の項目の評価から得点が算出される。第3群は、「複雑な動作に関連する項目」で、立ち上がり、片足での立位、洗身等の項目の評価から算出され、第4群は、「特別な介護等に関連する項目」で、じょくそう、皮膚疾患、嚥下、食事摂取等の評価から算出される。第5群は、「身の回りの世話に関連する項目」であり、口腔清潔、洗顔、整髪、つめきり衣服の着脱、薬の内服、金銭管理、ひどい物忘れといった項目の評価から算出される。第6群は、「コミュニケーションに関連する項目」で、視力、聴力、意思伝達、指示への反応、日課の理解、生年月日の理解等の項目の評価から算出されている。第7群は、「問題行動に関連する項目」による得点であり、これらは、徘徊や収集癖、昼夜逆転といった問題行動の発現とその頻度による評価から、中間評価項目得点が算出される。ただし、平成15年度からは、これらの7つの中間評価項目群の分類やその評価基準に大幅な改訂がなされた。

認定調査に関しては、以下の3点が変更となった。

① 調査項目については、6項目を追加するとともに、既存項目から12項目が削除（合計79項目；参照図）された。

② 独居の場合の考え方について、従来は認定調査時における調査対象者の実際の状況により判断とされていたが、必要な介護を受けていないと考えられるときは、当該介護を受けている状況として判断するとされた。

③ 一部の項目について、自分の身体につかまればできる場合の判断基準（例えば、「起き上がり」については、自分の足等をつかんで起き上がる場合に、「1. つかまらないでできる」から「2. 何かにつかまればできる」に変更された。

また、認定調査に基づいて作成され、二次判定のもととなる介護認定審査会資料については、以下の5点が変更された。

- ① 運動能力の低下していない痴呆性高齢者の指標を表示
- ② 要介護認定等基準時間の行為の区分毎の時間
- ③ 日常生活自立度の組み合わせによる要介護度別分布を表示
- ④ 要介護度変更の指標を表示
- ⑤ 前回の認定調査における各調査項目の選択肢を表示（変更部分のみ）

なお、状態像の例については、必ず選択することとされていたが、改訂に伴い、二次判定において一時判定結果を変更する場合の検証のための参考指標として位置づけられた。以上のような大幅な変更が平成15年度から実施されたため、データの一部は、平成14年度までの分析となった。

平成11年度から15年度までの基準時間及び中間評価項目1群～7群の推移を示した。改訂が実施された平成15年度に中間評価項目第2群（移動等）、3群（複雑な動作）、4群（特別な介護等）、6群（コミュニケーション）に低下傾向が示された。第5群（身の回りの世話）は上昇する傾向がみられた。

表 III-1-52 申請年度別の認定基準時間、中間評価項目結果の比較

	基準時間	中間評価 第1群	中間評価 第2群	中間評価 第3群	中間評価 第4群	中間評価 第5群	中間評価 第6群	中間評価 第7群	
平成11年度	平均値	67.12	76.60	65.07	42.26	79.28	49.46	78.65	90.00
	度数	3747	3747	3747	3747	3747	3747	3747	3747
	標準偏差	32.04	29.02	32.03	31.44	24.97	32.78	26.14	14.55
	最小値	23	0	0	0	0	0	0	15.1
	最大値	170	100	100	100	100	100	100	100
	中央値	63	86.4	75.9	41.5	91.7	47.7	91.7	96.1
平成12年度	平均値	62.11	79.26	67.81	46.13	83.70	54.88	80.92	91.53
	度数	8660	8660	8660	8660	8660	8660	8660	8660
	標準偏差	30.62	25.32	29.08	28.46	22.34	31.39	23.68	12.95
	最小値	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大値	176	100	100	100	100	100	100	100
	中央値	55	86.4	77.4	56.4	94.9	58.4	93.5	97.2
平成13年度	平均値	59.95	78.28	69.23	48.15	84.24	57.48	82.11	92.89
	度数	9177	9177	9177	9177	9177	9177	9177	9177
	標準偏差	30.34	24.38	27.75	27.74	21.97	31.04	22.69	11.25
	最小値	23	0	0	0	0	0	0	15.6
	最大値	178	100	100	100	100	100	100	100
	中央値	52	86.4	77.7	56.4	94.9	62.2	93.6	98
平成14年度	平均値	58.51	77.59	68.43	48.78	82.97	58.58	81.90	92.79
	度数	8965	8965	8965	8965	8965	8965	8965	8965
	標準偏差	31.61	24.26	28.64	28.31	23.41	31.89	23.01	11.10
	最小値	23	0	0	0	0	0	0	12.1
	最大値	159	100	100	100	100	100	100	100
	中央値	48	82.3	78.5	56.4	94.9	63.7	93.5	97.5
平成15年度	平均値	59.72	73.18	48.71	37.97	74.18	62.22	75.68	92.70
	度数	9033	9033	9033	9033	9033	9033	9033	9033
	標準偏差	30.24	23.82	29.36	21.74	26.39	31.26	24.14	10.68
	最小値	18.6	0	0	0	0	0	0	11.8
	最大値	158.3	100	100	100	100	100	100	100
	中央値	47.1	84	49.6	43.9	79.6	69.5	82.3	97.2
合計	平均値	60.72	77.01	63.66	44.97	81.07	57.48	80.01	92.25
	度数	39582	39582	39582	39582	39582	39582	39582	39582
	標準偏差	30.93	25.01	30.17	27.50	24.06	31.73	23.79	11.86
	最小値	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大値	178	100	100	100	100	100	100	100
	中央値	52	84.2	72.3	44	92.2	62.35	89	97.2

表 III-1-53 中間評価項目分類

中間評価項目分類
第1群 麻痺・拘縮に関連する項目
第2群 移動等に関連する項目
第3群 複雑な動作に関連する項目
第4群 特別な介護等に関連する項目
第5群 身の回りの世話等に関連する項目
第6群 コミュニケーション等に関連する項目
第7群 問題行動等に関連する項目

2) 「麻痺・拘縮に関連する項目 (第1群)」得点の経年的変化

平成15年度は、最も低く73.18点で、平成11年度から14年度の得点よりも有意に低かった。高かったのは、平成12年度で、79.26点で11年度の76.60点、14年度の77.59点よりも有意に高かった。しかし、平成13年度の78.28点とは、有意な差はなかった。平成14年度は、平成15年度よりも高かったが、平成12年度よりは、低かった。